

理 事 会 議 事 要 旨	
会 議 名	2010 年度第 4 回理事会
日 時	2011 年 2 月 19 日(土) 11:00~17:30
場 所	西宮市男女共同参画センター ウエーブ 415 会議室
参 加 者	側垣 田上 家本 角田 大野 島村 横山
欠 席 者	監事)石田 能島
事 務 局	作野 重松 長谷
議 案	<p>1.【報告事項】</p> <p>(1)事業部門報告</p> <p>(2)管理部門報告</p> <p style="padding-left: 20px;">トレーナーの選考と評価に関する委員会 会員状況 会計状況 総会に向けてのスケジュール 後援報告</p> <p>(3)RTC 関連報告</p> <p style="padding-left: 20px;">2010 年度合意事項 (MOU) 提出ならびに CAP スペシャリスト資格登録状況 MOU を提出されていないグループ、ネットワーク外の CAP を実施している 団体の状況報告 J-CAPTA との会合後の経過報告 グループ支援状況 トレーニング委員会報告</p> <p>2.【審議事項】</p> <p>(1)管理部門</p> <p style="padding-left: 20px;">定款細則案について 2011 年度運営方針および事業方針案 予算概算案 申し出書への対応方針案の検討</p> <p>(2)事業部門</p> <p style="padding-left: 20px;">2010 年度事業報告書案 2011 年度事業計画案 (第 2 案))</p> <p>(3)RTC 部門</p> <p style="padding-left: 20px;">2010 年度合意文書 (MOU) のグループ解散に伴う取扱いについて 2011 年度合意文書 (MOU) について</p> <p>3.【協議事項】</p> <p style="padding-left: 20px;">NPO 法人としての CCJ のミッションや活動指針を社会へ発信するアピール 文の作成について (総会に向けて) メールでの決裁の手順について</p> <p>4. その他</p>
【報告事項】	
(1) 事業部門報告	<p>12 月以降の事業について、事務局より報告が行われた。</p> <p>第 1 事業：養成講座実践編 (福岡、熊本) を 2 か所で終了。</p> <p>第 2 事業：養成講座基礎講座 (福岡、東京) を 2 か所で終了。こども未来財団との共催で 1 月 30 日に児童虐待防止シンポジウムを実施し、大学、施設など多くの分野から 123 名の参加があった。キリン福祉財団助成で、山口県にて専門職研修「学校危機と心のケア」を実施した。</p> <p>第 4 事業：中央共同募金会助成で、広報グッズのシールと缶バッジを作成し頒布している。</p>
(2) 管理部門報告	

<p>トレーナーの選考と評価に関する委員会</p>	<p>プレトレーナーの選考経緯について、委員の作野より報告が行われた。プレ TOST を実施後、5 名がトレーナーに応募され、1 月 7 日実施の委員会にて候補者を選出し、理事会へ提案を行った。選考にあたっては、2009 年に本委員会 で定めたトレーナー選考基準に基づき、書類審査、個人面接、グループ面接を点数化して集計し、上位 3 人を候補者とした。地域、他トレーナーとの兼務、チームワークの観点からも委員会で話し合いをした。その後、前回理事会の決議どおり理事会 ML に UP し、理事会に承認いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小倉明美さん (CAP レラ) ・ 重永侑紀さん (NPO 法人にじいる CAP) ・ 西村説子さん (NPO 法人青い空) <p>次年度養成講座実施に向けて、今年度中に 2 回会合をもって準備をして頂く。</p>
<p>会員状況 会計状況</p>	<p>事務局より報告が行われた。2 月 16 日現在、正会員 93、活動会員 441、賛助会員 23 人 (92 口)、会員数減、事業収入減のなかで、今年度も非常に厳しい状況であり、2~3 月に事業が多いので、今後も大きく推移する。年度の収支は、高額の助成金をいただくことになったので、2600 万円規模になると思われる。</p>
<p>総会に向けてのスケジュール</p>	<p>今後は 3 月 9 日の運営委員会にて、事業報告書ならびに議案書案を作成。4 月 6 日監査、4 月 9 日に決算理事会を実施する。総会は 5 月 28 日 15 時から行い、当日は総会前の 13 時から側垣理事長を講師に社会的養護に関する内容で記念講演会を行う。翌日 5 月 29 日は、西澤哲さんを講師に迎え CAP スペシャリスト研修「施設内虐待の理解と対応」(仮称)を行う。</p>
<p>後援報告</p>	<p>NPO 法人 APIS が実施する『REAL VOICE「子どもへの暴力」生の声を聞く』事業に後援依頼があった。事務局で検討した結果、後援することになった。</p>
<p>(3)RTC 関連報告 2010 年度合意事項 (MOU) 提出ならびに CAP スペシャリスト資格登録状況</p>	<p>以下のとおり、事務局より報告が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年度合意文書 (MOU) 提出グループ 88 ・ CAP スペシャリスト活動認定証発行数 1044/ CAP スペシャリスト資格取得証明発行数 21 <p>2011 年 1 月以降、CAP スペシャリスト登録申請を行った人は、更新が 2014 年 4 月となる。</p>
<p>MOU を提出されていないグループ、ネットワーク外の CAP を実施している団体の状況報告</p>	<p>正会員だが MOU を交わしていないグループが実施された CAP おとなワークショップについて、相談の電話があった。実施先の幼稚園園長からによる相談で「ここ 2~3 年内容が変わってきたように思われ、PTA から不満が出てきて残念である。CCJ の HP にはグループ名があがっていないので、別のグループに今後依頼することができるか」という内容であった。事務局では状況を伺い、MOU を交わしたグループから幼稚園に連絡をとり、今後のワークショップの実施について説明をしてもらえるよう、対応をした。</p>
<p>J-CAPTA との会合後の経過報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生暴力防止プログラム講座について、主催・共催しないとの連絡を先方にしたが、CCJ が受講要望を伝えている養成者養成講座については、連絡はまだない。 ・ イラスト版サクセスストーリーの増刷については、注文数を聞き印刷を検討する予定だったが、現在注文はないとのことだったので、印刷用途はない。 ・ 児童養護施設プログラム報告会実施について、CCJ は一般公開を要望していたが、J-CAPTA は非公開で 3 月 20 日に実施するとのことだった。CCJ はリーダーズ研修とも日程が重なっており参加しないことになった。 ・ 「Strategies for Free Children」(ICAP 著作)日本語訳共同制作については、J-CAPTA と話し合いを進め、5 月末の完成を目途に合意することになった。CCJ は RTC 間での合意文書ならびに ICAP との合意文書に署名をし、ICAP ヘマニ ュアル翻訳料 (J-CAPTA と折半)も支払いを済ませた。現在翻訳中だが、今後は監修の担当分けについて話し合いをすることになっている。

<p>グループ支援状況</p> <p>トレーニング委員会報告</p>	<p>CAP グループからメンバーがCAP 活動できない状況になったとの連絡を受けた。すでに市内の委託事業が7年継続しており、その継続について懸念されたが、近隣グループがCAP プログラムの提供の支援をすることを合意し、行政側にもその理解を得ることができたので、CCJ が責任をもってその体制を支援していくこととなった。そのために、グループと規約を交わし、コーディネーターを配置する。今後3年間をかけて、地元で自らCAP プログラム提供ができるようになるための自立支援を近隣グループとCCJ が協力しながら行っていく。</p> <p>CAP プログラムではない、障がいのある子どもを対象としたプログラムについて、CCJ に問い合わせが寄せられた。内容についてよく知った上で今後対応が必要かどうかも含めて検討していきたい。</p>
<p>【審議事項】</p>	
<p>(1) 管理部門 定款細則案について</p> <p>2011 年度運営方針および事業方針案</p> <p>予算概算案</p> <p>申し出書への対応方針案の検討</p> <p>(2) 事業部門 2010 年度事業報告書案</p>	<p>定款・細則を考える委員会委員の長谷より、委員会作成の定款細則案が提出された。作成の概要について下記のとおり提案された。</p> <p>第3回理事会での意見を踏まえ、NPO 法人定款に関するものを「定款施行細則」案、RTC に関するものを「RTC 業務に関する解説」案として作成した。2011年6月1日からの施行をめざし、3月中旬までに各理事から修正箇所や意見をいただき、次回理事会を経て、2011年度第1回理事会にて承認をお願いしたい。</p> <p><決議事項> 定款施行細則ならびに業務に関する解説の施行までのスケジュールを承認する。</p> <p>運営委員会委員横山理事から、2011年度運営方針および事業方針案が以下のとおり提案された。</p> <p>「伝える・つなぐ・広げる」の運営方針のもと、明確になった組織の方向性をしっかりと内外に伝え、社会や合意文書を交わしたCAPグループとつながって、社会に広げていきたい。事業方針として、(1) 持続可能なCAP活動をめざした事業の実施(ユース世代に向けてアプローチ)(2) 事業を通じてのCAP活動の支援の明確化(GETS事業を第6事業へ移管)(3) 事業を通じての社会発信を行っていくことの3つをあげる。</p> <p>とくに、トレーニング委員会としては、以下の活動方針で進めていく。(1) CAP活動のフレームの共有・情報の共有をはかる、(2) これまでの活動とこれからの活動をつなぐ、(3) CAPプログラムの将来にむけての可能性を模索する(普及・広報・活動の幅を広げる)。</p> <p>これらのことを踏まえ、運営委員会にて次年度運営および事業計画をたて、次回総会議案案を検討する。</p> <p><決議事項> 2011年度運営方針および事業方針を承認する。</p> <p>事務局から、2010年度の会員数ならびに、次年度の第1、第2、第4事業など決定しているもののみ考慮して作成した2011年度予算概算案への提案が行われた。現在決定している助成は麒麟福祉財団のみであり、他いくつか助成決定待ちのものがある。</p> <p><決議事項> 2011年度予算概算案を承認する。</p> <p>MOUを交わしたCAPグループから近隣グループへの事務局の対応について、申出書が送られてきた。運営委員会で返信案を作成したので、理事会にて検討していただきたい旨、運営委員会委員横山理事から、提案が行われた。併せて、事務局がこれまでの経緯(対応も含む)説明を行った。</p> <p><決議事項> 理事会での意見をもとに修正し、理事長確認後、先方グループに送付する。</p> <p>事務局から、昨年度と同様の形式で作成している旨の報告が行われ、運営委員会理事の横山理事から運営方針・事業の振り返りが提案された。</p>

<p>2011 年度事業計画案 (第 2 案)</p> <p>(3) RTC 部門 2010 年度合意文書 (MOU) のグループ解散に伴う取 扱いについて</p> <p>2011 年度合意文書 (MOU) について</p>	<p>財政の立て直しのため、財政基盤を第 2 事業へ、他団体との協働へと事業展開への転換を図り、また出版物や広報グッズの作成を行い、収入増をめざした。速やかな決議・執行と組織のスリム化をはかるため、組織の整理を進め、意思決定のプロセスを明確にし、年間の組織の審議や協議計画を全体で共有することである程度スムーズな動きができた。また、情報は NPO 部分と RTC 部分を整理し、発信を工夫した。養成のしくみを確立していくことで、RTC としてのしくみや基盤を進めることができた。地域会議に関しては、名称にはこだわらず、RTC の役割として MOU を交わしているグループから地域の声を反映できるようなくみづくりをめざしていきたい。会計は、運営委員会、理事会に毎回確認を行い、事業の動きを意識してきた。また、財政面で会費についても検討を行った。</p> <p>第 1、2 事業 (講座関連) についてはほぼ決まってきた。就学前プログラム養成講座が新トレーナー体制で始まる。CAP が社会的養護についても発信していくために、次年度より児童養護施設プログラム CAP チームを「社会的養護における CAP チーム」に名称変更していきたいと考えており、キリン福祉財団の助成で講演会・研修等も予定している。</p> <p><決議事項> 2011 年度の運営方針案・事業方針案 / 事業計画案の方向性を承認する。</p> <p>CAP グループが解散するに伴って、CCJ と交わした MOU の扱いをどのようにするか検討いただきたい。</p> <p><決議事項> CAP グループが解散等で活動しなくなる時点で、CCJ と交わした MOU は返却いただくこととする。</p> <p>昨年度のものから、一部変更をしている。添付文書の実施基準の実施ガイド名の訂正とスペシャルニーズプログラム実施ガイドについて加筆する。</p> <p><決議事項> 理事会での意見をもとに修正し、次回理事会に再提案する。</p>
<p>【協議事項】</p>	
<p>NPO 法人としての CCJ のミッションや活動指針を社会へ発信するアピール文の作成について (総会に向けて)</p> <p>メールでの決裁の手順について</p>	<p>運営委員会委員の横山理事より報告と提案が行われた。</p> <p>前回の理事会で確認以降、1 月 30 日のシンポジウムでのアピール文を運営委員会にて作成し理事会 ML で最終確認していただき、理事長が挨拶として発言された。今後は、総会に向けて、運営委員会でアピール文案を作成し、次回理事会にて提案したいと思っている。</p> <p><確認事項> アピール文を作成することを承認し、次回運営委員会にて作成された案を次回理事会にて審議する。</p> <p><確認事項> 緊急なこと、あるいは理事会にてメール決済を承認した事項については、理事会 ML にて担当事務局が決済締切日を含めて提案し、最終決済の確認を発信する。意見が出され審議が必要になった場合は、理事長先決事項として、理事長の判断を仰ぐこととする。</p>
<p>【その他】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討事項に関するブレインストーミングを行った。 ・次回 (第 5 回) 理事会 2011 年 4 月 9 日 (土) ・議事録署名人 家村理事、角田理事 	

議事要旨作成：長谷